

なは又とだ

イ ア ロ 〜 グ

第3回

アーティストトーク

上原 沙也加
写真家

兼島 拓也
劇作家

木村 あさぎ
映画監督

TOSH
ミュージシャン

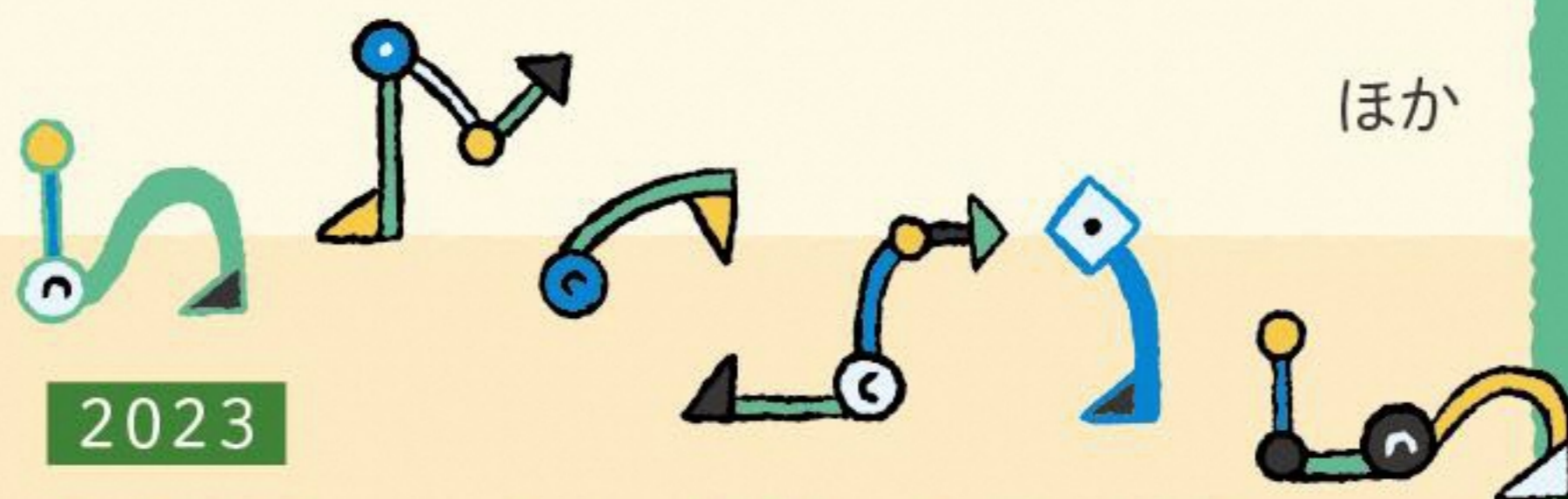
丹治 りえ
彫刻家

照屋 恵悟
ピアニスト

仲嶺 良盛
琉球古典音楽

西永 怜央菜
アーティスト

Ms. Little Chico
イラストレーター



ほか

2023

1/22(日) 14:00-17:00

那覇文化芸術劇場なは一と

3F 大スタジオ

定員 / 50名 参加費 / 無料

申込 / Googleフォーム <https://onl.sc/FETyfUv>

☎098-861-7810 または

なは一と総合受付にて 10:00-19:00



ア
ー
テ
ィ
ス
ト
は
何
を
か
ん
が
え
て
い
る
か、

んがえているか、

2022
— 23

なはととダイアログ2022-23

第3回 アーティストは 何をかんがえているか、



2023

1月22日(日) 定員 / 50名 参加費 / 無料

時間 / 14:00-17:00 申込 / Googleフォーム <https://onl.sc/FETyfUv>



☎ 098-861-7810、またはなはと総合受付にて(10:00-19:00)

那覇の文化をどう育んでいくかを考える「なはととダイアログ」も第3回。今回は、これまでの「市民と行政の対話」から少し視線を変えて、アーティスト自身の「声」に耳を傾けてみます。豊かな文化芸術を誇る那覇市においても、環境整備はいまだ道半ばです。もちろん個々の表現者の活動は自由であっていい。でも、支えが必要になった時、その仕組みが用意されている事も重要です。那覇で文化が生まれ育まれ、表現者として呼吸をしていくために必要なもの、それは何か。そこでは行政への不満や課題だけに限らない、例えば新たな交流の場の可能性、民間による支援など、幅広い意見を期待します。それに加え、現代アート、古典芸能やポップミュージックなど、多彩な参加者の中でジャンルを横断した繋がりが生まれ、共に文化の盛り上がり、大げさに言えば時代のよなものを作っていくそのスタートラインに立てたら。そんな希望を込めた回です。

アーティストトーク ゲスト



上原 沙也加

写真家

兼島 拓也

劇作家

木村 あさぎ

映画監督

TOSH

ミュージシャン

丹治 りえ

彫刻家

照屋 恵悟

ピアニスト

仲嶺 良盛

琉球古典音楽

西永 怜央菜

アーティスト

Ms. Little Chico

イラストレーター

ほか

スタッフ



石垣 綾音 ファシリテーター

「人と土地をつなぐ、コミュニティをエンパワメントする」をモットーに、「こみゆとば」として県内各分野の個人や団体とコミュニティと場づくりに関する活動を行なう。



林立騎 司会

那覇文化芸術劇場なはと企画制作グループ長。訳書にイエリネク『光のない』、レーマン『ポストドラマ演劇はいかに政治的か?』。ドイツの劇場勤務を経て、22年より現職。



宮城 潤 司会

那覇市若狭公民館館長。2001年より10年間、NPO法人前島アートセンターでアートとまちづくりの活動に携わる。現在、公民館をベースに「アート×社会教育」をテーマに活動を実践している。



中谷 駿悟 記録

シネマトグラファー。1992年、富山県生まれ。沖縄県内に映画製作・配給を行う(株)ムーリンプロダクション代表。主な撮影作品に『緑の牢獄』など他多数。



福地 リコ 記録

映画作家・ライター。1993年、沖縄県恩納村生まれ。沖縄を拠点に映画制作を行う。監督作に『BOUNDARIES』、『Childhood's end』他。



高橋 健太郎 記録

写真家。1989年、横浜生まれ。沖縄、東京、北海道を拠点に写真を撮影し作品を制作。第36回写真の町東川賞特別作家賞。写真集に『A RED HAT』(赤々舎)。

那覇文化芸術劇場なはと

NAHA CULTURAL ARTS THEATER NAHArt

沖縄県那覇市久茂地3丁目26-27 tel.098-861-7810



バス

①若松入口 徒歩約6分 ②松尾一丁目 徒歩約6分
③久茂地公民館前 徒歩約2分 ④松尾 徒歩約6分
⑤沖銀本店前 徒歩約6分

モノレール

①県庁前駅 徒歩約6分
②美栄橋駅 徒歩約6分

※駐車場は関係者専用となりますので公共交通機関をご利用ください

